東稲ニュース

第 105 号　　早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成３１年　３月１０日発行
発行責任者　高橋 哲男
編集責任者　小山田朋樹
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局　大矢 真弘　TEL042-475-8532

東久留米稲門会第 25 回定時総会のご案内

東久留米稲門会　会長　高橋 哲男

日ごと春めいてまいりましたが、皆様にはお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃、東久留米稲門会にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。来る 4 月 21 日(日)に「第 25 回定時総会」を開催いたします。多数の皆様のご出席をお待ちしております。尚、今般の定時総会・懇親会から、卒業後 60 年を超える諸先輩に粗品ですがお祝いを用意してますので、是非ともご出席をお願いいたします。

また、早稲田大学校友の皆様には、毎年この時期に「東稲ニュース」にてご入会の案内をさせていただいておりますが、東久留米稲門会は、早稲田出身の約 150 名の会員からなる地元での親睦会です。趣味や運動で楽しむことや偶には酒席で交流する気楽な会です。是非一度体験なさってください。また、ホームページからもアクセスできますので閲覧をお勧めします。

第 25 回文化講演会・定時総会・懇親会のお知らせ

日　　時　：2019 年 4 月 21 日（日）　午後 2 時 00 分
場　　所　：成美教育文化会館　1 階　ギャラリー
　　東久留米市本町 8-14　TEL042-471-6600
文化講演会　：午後 2 時 00 分
　　横田 治彦氏
　　演題　『近年の地震と耐震技術から地震防災を考える』
定 時 総 会　：午後 3 時 40 分
　　議題　2018 年度事業報告
　　2018 年度収支報告　同会計監査報告
　　2019 年度事業計画
　　2019 年度収支計画
　　役 員 改 選
懇　親　会　：午後 4 時 45 分　3 階大研修室　会費　3,000 円
　　＜卒業後 60 年以上会員への記念品贈呈＞

＊校友の皆様へ　　東久留米稲門会　入会のお勧め

東久留米稲門会は、今年で 25 年目。早稲田を卒業して東久留米に住み、既に仕事をリタイアした方や、まだ現役で働いている方が共に「心のふるさと早稲田」を胸に刻んで集まり、年 3 回の懇親会、趣味や運動の各部会・サークル活動を楽しんでいます。「東久留米稲門会に入って良かった！　稲門会は面白い！」という声が多くの会員から聞かれるのは次のようなことからです。

＜1＞　地元で同窓の友人ができる。
＜2＞　部会、サークルが多くあり、同じ趣味を持つ人とご近所で仲間になれる。
＜3＞　新年会、総会懇親会、秋の旨いもの会では、飲食の中で親交を深められ、早稲田の校歌を学生時代に戻ったように、全員で歌うことができる。

早稲田は一生楽しめます。地元同士のお仲間になりませんか。校友の皆様のご入会を心からお待ちしております

会員になると・・・　東久留米稲門会の会員として登録され、奇数月 10 日発行の「東稲ニュース」及び各部会の案内チラシが各地区のポストマンより宅配されます。毎年 7 月に発行する新年度会員名簿（規約、弔意規定を含む）が配付されます。また当会主催の総会、秋の懇親会、新年会の案内の他、太極拳、囲碁、俳句、書道では、同趣味の仲間と楽しみながら親睦を深め、技量の向上も図られます。女性サークル、ウオーキング＆山歩き、ゴルフ、グルメ、郷土研究、カラオケ、旅行、早慶戦観戦、ラグビー観戦、芸術鑑賞、バドミントン及び映画鑑賞会に何時でも参加できます。

＊会員の皆様へ　**東久留米稲門会　会員継続のお願い**

2019 年 4 月より新年度になります。2019 年度(4 月より 1 年間)も引き続き東久留米稲門会の会員継続をお願いいたします。また、早稲田大学校友会員を中断している、あるいは未入会の方、**次代を担う早稲田大学奨学生を応援するため、校友会への入会をお願いします**。(校友会会費振込用紙同封)

＊東久留米稲門会年会費の振込手続

年会費は 3,000 円です。同封の払込取扱票(青色)を使用して最寄りの郵便局から 5 月末日までに、お振込みください。なお、総会にご出席の方は受付の際 3,000 円をお支払いいただく方法もございます。(郵便局の窓口での支払いは送金手数料が 130 円かかります。なお 13 頁「東稲広報室」に、郵貯ＡＴＭを使っての無料口座間振替の方法をご案内しております)

＊総会出欠返信用はがき

同封のはがきに出欠の他、必要事項をご記入の上、4 月 5 日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。

会の告知板

【部会予定】

3 月 11 日(月)	第 30 回グルメ会「門前茶屋の深川めし」	09:00	東久留米駅改札口
3 月 13 日(水)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会(臨時開催)「高尾梅郷散策」	08:45	東久留米駅改札口
3 月 18 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会番外編「甲州街道を歩く第 13 回」	06:50	東久留米駅改札口
4 月　1 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会「幸手権現堂桜堤」	08:50	東久留米駅改札口
4 月　7 日(日)	臨時役員会	16:00	生涯学習センター
4 月 21 日(日)	東久留米稲門会第 25 回定時総会	14:00	成美教育文化会館
4 月 23 日(火)	ゴルフ部会「春の稲門会コンペ」		＜玉村ゴルフ場＞
5 月 30 日(木)	映画鑑賞会『汚れなき悪戯』	14:00	成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

4 月　5 日(金)	稲門祭実行委員会	18:30	井深記念講堂

＜各部会定例活動一覧＞

部 会	3 月				4 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性ｻｰｸﾙ	14	木	10:00~	中央町地区ｾﾝﾀｰ	18	木	10:00~	中央町地区ｾﾝﾀｰ
書 道	10	日	13:00~	生涯学習センター	14	日	13:00~	生涯学習センター
俳 句	17	日	13:00~	生涯学習センター	14	日	13:00~	中央町地区ｾﾝﾀ
囲 碁	24	日	13:00~	成美教育文化会館	24	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	9	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	6	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	16	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	13	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	—	—	——	——
バドミントン	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ

会の報告

◎東久留米稲門会新年会の報告

高橋会長　新年の挨拶

寒中とは言うものの、快晴の日差しが暖かく感じられた 1 月 19 日(土)の午後に、会員 49 名が参加して恒例の新年会が、いつもの成美教育文化会館でにぎやかに開催されました。冒頭の高橋会長の挨拶では、4 月 21 日(日)の当会総会の日が、統一地方選挙で東久留米市議会議員選挙と重なること、そして当会会員から若手新人含め 3 名の立候補が予想され、各人の健闘を期待するとの紹介がありました。続いて平山元会長のご発声による乾杯で宴会がスタート。一通りアルコール、食事が進んだところで、初参加の青木佑介氏(平成 27 年人科)の自己紹介が行われ、その若々しい姿に、若手校友の参加を心待ちにしていたベテラン会員達から惜しみない拍手が贈られました。

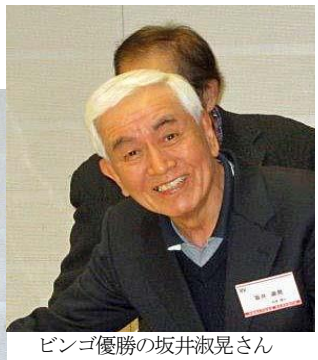
平山元会長　挨拶と乾杯

今回も、アトラクションとして商品の持ち寄りによる「ビンゴゲーム」が行われ、幹事が用意した 1 等賞 3 千円、2 等賞 2 千円、3 等賞千円の各商品券の他、今回は「会津塗りの器」、「印傳屋の小銭入れ」等の高級品も出品されて、豪華 30 点の賞品をめぐって熱戦が展開されました。見事 1 等賞を獲得したのは坂井淑晃さん。2 等賞は初参加の青木佑介さんでした。なお、当日 17 時開宴の「ワセオケ ニューイヤー・コンサート」チケット 2 枚も賞品として提供されましたが、これは特別賞として参加可能な方に申し出ていただくこととし、髙柳さんが手を挙げられて獲得されました。

新入会、初参加の青木佑介さん

歓談の輪も広がり、宴たけなわではありましたが中締めの時間となり、安次峰前会長の 1 本締めで締め、恒例の、大島さんのハーモニカ伴奏、大矢事務局長のリードによる校歌&エールで無事新年の宴はお開きとなりました。

貴重な女性陣　前列左は横田幹事令夫人　本人欠席のためビンゴ賞品を届けに来てくださいました


ビンゴ優勝の坂井淑晃さん

安次峰前会長の中締め

いつもの光景・・・　大島さんのハーモニカ伴奏　大矢事務局長のリードで校歌とエール

参加者：藍原昌義、青木佑介、安次峰暁、安藤信雄、池田信一、石寺美弥子、泉信吾、上原徹也、上田敦嗣、上田芳裕、大島勝典、大矢真弘、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、片平るみ、金子孝司、川上舜一、河村洋子、小牧完次、後藤秀作、坂井淑晃、笹井瞭三、佐藤一郎、清水正弘、高橋哲男、髙栁康夫、辰巳徳蔵、東海俊孝、長田博之、中村敏明、長谷山勝美、馬場清彦、比護喜一郎、菱山房子、平山努、平山正徑、船津高志、別処尚志、帆角信美、松崎博、三浦洋子、武藤豊、村上万里、山岡恭子、山口謙二、吉田清郎、米光慶二郎、渡辺真司　(49 名　順不同　敬称略)　　小山田 朋樹 記

◎役員会報告　平成 30 年度第 5 回役員会が 2 月 3 日(日)16 時より生涯学習センターで開催された。
＜議事録概要＞
高橋会長から開会の挨拶の後、議事に入った。
１．大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係　：各担当より以下の件につき報告があった。
（1）1 月 19 日(土)練馬稲門会主催新春コンサート・・・小野　会員参加者　27 名
（2）2 月 17 日(日)三多摩幹事長・事務局長会議・・・大矢
（3）3 月 9 日(土)春季代議員会・・・小山田・山口
（4）2019 年度稲門祭実行委員の選出：中村敏明氏(再任)、吉田清郎氏(新任)の 2 名とする。
２．新年会の反省
３．第 25 回定時総会について(成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)
（1）定時総会・文化講演会について　4 月 21 日(日)
講演会：14 時～15 時 30 分　総会：15 時 40 分～16 時 30 分　懇親会：16 時 45 分～18 時 30 分
（2）文化講演会　　司会：大矢　講演者：横田治彦氏
演題「近年の地震と耐震技術から地震防災を考える」
＊東久留米市報　4 月 1 日号に掲載依頼予定
（3）定時総会　　司会：小野副会長　議長：高橋会長
議題　①2018 年度事業報告：大矢　②2018 年度収支報告：清水
③2018 年度監査報告：吉川　④2019 年度事業計画：大矢
⑤2019 年度収支計画：清水　⑥役員改選(案)
（4）懇親会　16：45～18：30　司会：大矢
（5）総会案内印刷及び袋詰め作業　3 月 7 日(木)17：00～18：30
＊案内資料は 3 月 23 日(土)までに配布、返信は 4 月 5 日(金)まで
＊会員以外の市内校友への案内は、50 代～70 代の卒業生とする。
（6）臨時役員会　　4 月 7 日(日) 16：00 生涯学習センター(予定)

（7）総会資料印刷　4月14日(日)16：00(予定)

4．会計報告(2019年1月末現在)並びに次年度予算(事前打合せ等)について会計担当の清水氏より、資料に基づき説明があった。次年度予算についての打合せ日時は3月7日(木)に決めることとした。

5．広報関係　　東稲ニュース「編集委員会」発足について：高橋会長より、有賀氏・片平氏・前川氏と執行部による編集委員会を発足し、5月号より、新体制にて発行するとの報告があった。

6．その他

（1）卒業後 60 年の会員への記念品等の件：担当の山岡副会長より、マグカップのサンプルが提示され、エンジ色の校章にお祝いの言葉を入れたデザインにすることが決定された。

（2）今後の映画鑑賞会について：担当の高橋会長より資料に基づき説明があった。

（3）結婚相談室「いなほ会」の件

・次回役員会について：2019年4月7日(日)16時より、生涯学習センターの予定

○2018東京三多摩支部　幹事長・事務局長会議報告

2月 17 日(日)午後2時30分から調布市文化会館において開催された。三多摩地区には26の市があるが、二つか三つの市が幹事となり、持ち回りで行っている三多摩地区稲門会の実務者会議である。今回は稲城と府中稲門会が欠席ではあったが、担当の調布稲門会より、2018年度の活動報告、大学校友会からの校友会費納入状況と早稲田アリーナ募金関係等の報告並びに2019年度の各稲門会の総会日程の報告等があった。2018年度は調布と町田が担当幹事で、支部大会や稲門祭等の中心となり、運営をしていただいた。2019年度は青梅・昭島・羽村が担当となり、東久留米にも近いうちに当番が回ってくるようなので、皆様のご協力を今のうちからお願いしたいところである。　　大矢 真弘 記

部会報告

＜俳句部会＞

第222回　1月20日(日)　兼題：蝋梅　初便り
席題：和菓子一切

＜高点句＞

古ポストカタリと鳴って初便り	川俣信子
シカゴからマイナス5度と初便り	川島知子
蠟梅や卒寿の母の透き通る	片平るみ

＜自選一句＞

そっと来て蠟梅覗きそっと去る	神田尚計
口上に照れある友の初便り	杉本達夫
お茶受けの和菓子ほんのり春の風	馬場清彦
なつかしき友垣の文字初便り	比護喜一郎
大寒や切腹最中持ちて詫び	三浦洋子
わらべらのお菓子取り合ふ掘炬燵	橘優治
名物の最中みやげに年始客	大久保泰司
白き息吐きて啼きけり寒鴉	安宅武一

第22回　2月17日(日)　兼題：薄氷　春光
席題：台所、
食卓に関わるもの

＜高点句＞

春光や子等の育てし花時計	片平るみ
うすらいを年甲斐もなく割ってみる	馬場清彦
春光の中をゆっくり乳母車	神田尚計
春光や路に残りし蝋石絵	川島知子

＜自選一句＞

何事も無き日は佳き日春光	比護喜一郎
春光や焼きたてパンと珈琲と	三浦洋子
薄氷や海光映ゆる千枚田	大久保泰司
原酒汲む黒き盃雪予報	杉本達夫
春光のプールを見据え闘病す	川俣信子
流れたる花屋の水や薄氷に	安宅武一
薄氷の世のあやうさやそちこちに	橘優治
春光をたぐりたぐりて野に遊ぶ	横田慧子

片平 るみ 記

＜書道部会＞　1 月 13 日(日)　書道部の新年会

平成最後の書道部の新年会が 1 月 13 日(日)成美会館の 3 階の和室で行われました。1 月にしては暖かく、明るい日差しの差し込んだ和室の床の間には、武藤先生の多種多様な書体の「寿」が大幅の書で掛けられ、また正面には壁一面に二枚の模造紙に隷書の朱墨で「寿慶」、「寿福」との文字が掲げられ、側面には、部会員各人の個性に富んだ「寿」の書が並べられ、これから始まる楽しい集いを寿ぐように整えられていました。またテーブルには渡辺さん、小野さん、安次峰さんによって、心を込めて調達されたお寿司やおつまみ類、甘味、そしてこの日のためにと選ばれた加賀の銘酒(金箔入り)、ワイン、ビール、ソフトドリンクなどが所狭しと並べられました。当日は 3 人の欠席者がおりましたが、元部会員の菱山さんの特別参加があり、苅草洋子さんの乾杯の音頭で華やいだ雰囲気の中楽しい会が始まりました。

謹賀新年：本年も頑張ります、宜しくお願いします。己亥之年、書道部一同

次いで武藤部会長の新年のご挨拶があり、昨秋の久家政裕氏の書道展、また 12 月の座右の銘のミニ作品展についての経過・講評がありました。12 月 4 日の久家さんの訃報に触れられた時は、新年の華やぎのなかにも一抹の寂しさを覚えたことでした。さらに渡辺さんからは、今年 10 月の第 10 回作品展についての説明がありました。乾杯のあとは談笑がつづき、しばらくして金箔入りの日本酒が全員にふるまわれ、再度の乾杯がなされ、おいしいお料理を頂きながら飲むほどに酔いが回り、各人それぞれ饒舌になり、あちこちで笑いが絶えませんでした。

ところで、1 月の書初めのテーマは先生から「寿」という文字を含む書作品を書いてくるようにと宿題を出されておりましたので、各人頑張って作品作りに励みました。それぞれが自分の書について語り、質問に答えたりして、みんなで勉強もさせていただきました。お酒が入り、ほろ酔い気分ながら、煌びやかに書かれた「寿慶」「寿福」の書の前で全員の記念撮影をし、部会員それぞれは、自分の書の前で武藤先生に記念の写真を撮影していただき、今年一年の精進をさらに心に誓いました。

栄田 美智子 記

＜書初め作品一覧＞

富貴壽考（大矢）　福禄壽（栄田卓弘）　恵比寿（安次峰）　壽（安次峰）　壽春（苅草）
春壽光見（前川）　吉祥蓬莱（渡辺）　亀龍壽（小野）

栄田さんのオシャベリで安次峰さん、苅草さんが唖然としておられます

大矢さんの「富貴壽考」の書初めは威風堂々としています、未来の本人の夢の姿でしょうか！？

次に下の写真の書「亀龍壽」は小野さんが亀や龍のように長命を願って書かれたのでしょうか！？

均整のとれた素晴らしい書です。そして書初めでことさらの願いを込めて書かれた渡辺さんの色紙ですが、“壽限無”（じゅげむ）「限りなく祝いが沸き出る：限り無い長寿」の３文字を実にバランスよく調和させた美しい色紙作品です。各自何れもおもいおもいの新年に相応しい書作品でした。

書道部の皆さん　今年も頑張りましょう。スポーツで体を鍛え、
書道で心と精神を鍛えて心身共に健康な人生を送りましょう、
“壽限無”（じゅげむ）の世界に・・・(渡辺)

稲門会の皆様、当書道部会は“書が上手くなるというより、書をみんなで愉しむ趣味の書道部会”です。皆様、どうぞ入会して頂き“座右の銘”他皆様の好きな言葉を書にして遊びませんか！！。私は練習日にはさながら墨友から元気と勇気をもらい楽しく活動させてもらっています、そんな書道部です。　　武藤 豊 記

＜諸芸術鑑賞部会＞　１月 19 日(土)　「ニューイヤーコンサート」

恒例の練馬稲門会主催の早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサートが、1 月 19 日（土）に開催されました。今年は東久留米稲門会の新年会と重なり、当会の会員鑑賞参加者は 27 名でした。私は今回で２回目でしたが、昨年以上の素晴らしい演奏に豊かな一時を満喫する事が出来ました。4 年で入れ替わる学生オーケストラですが、この演奏を聴く限り、音楽などの芸術は年齢に関係なく才能と練習を頑張れば、人を感動させうることを改めて実感致しました。リピーターが多く毎年観客が増えて今年のチケットは完売したそうです。来年も楽しみです。　　小野 泰右 記

特別寄稿　「ワセオケ」初詣記　　髙柳康夫（昭 33 年　商）

1 月 19 日新年会の宴たけなわ、これからビンゴゲームに入る前、小山田副会長の右手が高く掲げられ、その先にはチケットが２枚、「どなたか、行かれる方はいませんか」と懇請の様子、なかなか応える方がおらず、もはやこれまでというところで、自然に手が挙がった。菱山、平山両氏からの「ワセオケ」プラチナペーパーだった。

「ニューイヤーコンサート」は、以前から好評を博していると聞いていたが、どうもクラシック、

それも歌劇となると、重たい感があり眠気を催すのではないか、それと、二次会はマイクを握る積りでいたことから、なかなか二つ返事とはいかなかった。

練馬文化センターの 17 時開演までに若干時間があり、そぞろ歩いて行くと、いつの間にか「まねきねこ」に引き込まれ、「時間大丈夫ですか？」とのお気遣いもいただきながら、2 曲ご発声後、駅に駆け付けたが、間に合う予定の電車は出たばかり。暫く待って、各駅停車で練馬駅へ、改札口 16：58、会場まで階段の昇り降りを経て滑り込み、丁度「椿姫」の解説中、本番寸前でギリギリセーフの体たらくだった。

歌劇などを目の当たりにしたのは、おそらく初めて、テナー、バリトンそれに主役とも言うべきソプラノの歌手の皆さん、それぞれプロなので上手は当たり前、広い会場に響き渡る声量には、当然のことながら、吃驚するとともにいたく感銘を覚えた。

第 2 部は馴染みのある楽曲が奏でられ、特にチャイコフスキーの「ヴァイオリン協奏曲」を弾いた現役女子 3 年生の演奏には舌を巻き、その後は、若かりし頃、いつかどこかで聴いたポルカやワルツの楽曲にしばし時間の経つのを忘れた。アンコール曲は、新年ということもあり、定番の「ラデツキー行進曲」それに「早稲田大学校歌」と続き、おおとりは「早稲田の栄光」。校歌は、みんなと一緒に口ずさんでいたが、「栄光」の方は、歌っている途中で涙腺の緩むのを禁じ得ず、60 年以上前、一塁側スタンドで蛮声を張り上げていた光景が蘇り、何とも懐かしい想いに浸ることができた。「校歌」は人口に膾炙しているが、「栄光」も琴線に触れる名曲ではないかと思っている。音楽は、時に応じて想い出を蘇らせ、人の心を揺さぶりトキメキをもたらしてくれる。

先日、「チコちゃんに叱られる」という番組で、「大人になるとどうして時の経つのが早く感じるのか」に対し、「それはトキメキが少なくなるから」ということで、19 歳がピークの由、それ以降は早くなるばかりということだった。7 回目の年男を過ぎた現在、アッという間に時が過ぎていくのは、至極当たり前だが、この日ばかりは、「ワセオケ」により、20 歳前後に戻り、いつもと違うワクワク感があった。

トキメキついでにもう一つ付け加えると、旧臘 15 日、早稲田アリーナのお披露目会があり、何十年ぶりかでキャンパスに赴いた。その折、応援部とグリークラブが駆け付け、それぞれ間近に見ると一層迫力があり、すっかりステージに見入ってしまった。応援部は、女性が多数加わり誠に華やかで、今は分からないが、嘗て「男は早稲田」という大きな幟がスタンドにはためいていたことを思い出し、将に隔世の感であった。また、グリークラブは、馴染みのポップス、歌謡曲に加え、アンコール曲として「早稲田大学校歌」「紺碧の空」「光る青雲」それに「早稲田の栄光」など、心躍る楽曲のオンパレードにトキメキを隠せなかった。ただ、若き日、「日本青年館」で聴いたグリークラブの定番で、専任指揮者であった磯部俶先輩作詞作曲の「遥かな友に」は耳にすること能わず、帰りがけの出口で、新人がチラシを配っていたので、「あの曲はなかったな」と言ったら、「定期演奏会で歌いますから是非来てください」と言われ、年末近く錦糸町の「すみだトリフォニーホール」へ運び、アンコール曲として歌われ、久し振りに満喫することができた。これもトキメキ、「ワセオケ」と合わせ、この時間だけは、時計の針の速さを少しばかり遅らせることができたのではないかと思っている。

今後、「線路がどこまでも続かない」中で、事情の許す限り、戌年に因み、「犬も歩けば棒に当たる」を心掛け、偶然の機会を広げ、裏表もあるが、できればトキメキに繋げていけたらと思っている、少なくとも、来年は、自らの意思で「ワセオケ・ニューイヤーコンサート」の観客の一人になることを言い聞かせながら、「文化センター」に再会を約した。

＜ウォーキング＆山歩き部会＞　第 70 回 ｳｫｰｷﾝｸﾞ（H31. 2. 4 宝登山 蝋梅＜ろうばい＞園）活動報告

ｳｫｰｷﾝｸﾞで最初に宝登山を訪れたのは 3 年前(H28. 1. 28)である。厳しい寒さに凍てついた日々が続く中、その日だけ奇跡的な青空の暖かい日和となり、標高 497mの宝登山山頂周辺の約 15,000 ㎡の敷地に咲き乱れる 3,000 本の蝋梅を巡り歩いた。蝋梅の黄色を透かして、雪に覆われて真っ白な秩父の街を見

宝登山神社入口にて全員集合

下ろしたことも思い出された。この時参加出来なかった方々のご要望を受けて昨年２度目の宝登山を企画したが、寒さと積雪の為に断念。今年天候を気にしながら３度目を企画したところ、これまでとは打って変わって雪は全く無く、春到来と間違う程の気温に恵まれて、参加者 15 名(男 11 女 4)は、冬のお花見を大いに楽しんだ上に、帰りの下り道では陽春の心地良いｳｫｰｷﾝｸﾞを堪能した次第です。

冬に咲く花木の代表種と言える蝋梅の名前の由来としては、花がロウ細工のように美しいという説を始め幾つか言われている。植物学的には、梅の仲間ではなく、ロウバイ科ロウバイ属で中国中部原産の高さ 3～4mになる落葉低木。彼の地では古くから梅・水仙・山茶花(日本の椿)と共に「雪中四友」の一として画人文人に愛されたが、日本に入ったのは遅れて江戸時代になってからという。唐梅(からうめ)の別名もあるが、古歌に詠まれた例は無く、和歌の作例は近代以降に限られるようだ。花言葉の「ゆかしさ」「慈しみ」は、まだ花の少ない冬期に、そっと黄色い花を咲かせる蝋梅のひかえめで奥ゆかしい姿にちなむといわれる。蝋梅園を巡った趣を表したいところだが、自分には俳句を作る才が乏しいので、先人の句の中に、今回のｳｫｰｷﾝｸﾞでの鑑賞に合うものを捜した。

蝋梅を過ぎくる風に吹かれをり　宮本道子　雑誌：酸漿（2003.04）
蝋梅の香の中につと入れり　　大山妙子　雑誌：酸漿（2003.04）

宝登山神社を参拝。今から約 1,900 年前の日本武尊の東国平定物語に神社の由来があり、東征の際に神武天皇・山の神・火の神を宝登山に祀ったのが起源と伝えられている。秩父地方にある狼犬（ニホンオオカミ）信仰の神社でもある。平成 21 年に改築された壮麗な本宮が麓に鎮座、山頂には狛犬ならぬ狼犬が護る奥宮がある。山火事に遭遇した尊が神犬の神助を得て、無事に宝登山に於いて神霊を祀られた事が神社創建の始めであり、防火守護の霊験がある火止山（ほどさん）神社が建立され、後に宝登山神社に改名されたという。

長瀞駅から土産屋を冷やかしながら、路地を進んですぐにある「岩畳」を訪れた。日本列島が大陸から分離する遥か以前、2 億年前に海底下数十kmで生成された岩石が変成作用を受けた後に隆起し、結晶片岩として地表に表出して扁平な岩石の連なりとなったもので、荒川の雄大な流れに沿った壮大な岩の連なりが畳のように見えるところである。人間の歴史を遥かに超えた自然の営みの中に抱かれて立ち尽くすだけであった。東久留米に戻り、恒例に則り、打ち上げで締め括った。

追：「甲州街道を歩く」１月と２月は、厳しい寒さの為に、３月以降に延期しました。　　東海 俊孝 記

＜カラオケ部会＞　2月5日「馬場さんの米寿を祝う会」

2月5日、馬場清彦さんが米寿を迎えられ、「カラオケ部会」として、お祝いの会をご案内したところ、いつものメンバーを中心に、16名の歌侍が「オンチッチ」に駆け付け、まず、全員で「Happy Birthday to You」を合唱、馬場さんを称えました。

因みに、先輩は、長年にわたり、「カラオケ部会」に参加され、いつの間にか「切り込み隊長」という名誉ある称号を奉られ、「ひばりの佐渡情話」が流れないと、会が始まらないことになっており、今回もその伝統に則り、馬場節の名調子で「お祝いの会」がスタートしました。

今回は、馬場さんの若き頃に思いを馳せた曲目を選んだ方、いつもどおり日頃のトレーニングの成果をご披露された方、初めて参加されフレッシュな声を響かせた方、本会では珍しくアカペラで唄われた方など、まことに色とりどり、賑々しく、楽しげに大いに盛り上がりました。特に馬場さんの歌唱にはやんやの喝采が送られ、看板に相応しい雰囲気に包まれました。

安藤さんも同様ですが、馬場さんも全く年齢を感じさせない若さに満ち溢れた声に一同舌を巻き、満場を唸らせました。今や、巷間100歳時代とも言われており、米寿は嘗てのように珍しいことではないかも知れませんが、自らを顧みて、80代はかなり坂がきつく、尊敬の念を禁じ得ません。どういうわけか、今年は寒中見舞いの葉書がいつもより多く舞い込み、米寿はやはり「めでたい限り」ではないかと思っています。

中締めは、大矢プロのリードで、「早稲田の栄光」を合唱、引き続き「都の西北・・・」を高らかに歌い上げ、気分すっきり大いに満足し、大団円となりました。

なお、まだマイクに後ろ髪を惹かれる方は、夜の更けるのを忘れ、暦が変わっても勤しんでいました。

祝米寿　馬場さんの会に馳せ参じた歌侍たち

当日の参加者（敬称略、歌の順）と曲目は次のとおり。

1. 馬場　清彦　①ひばりの佐渡情話　②つぐない　③酔いどれて　④望郷酒場
2. 平山　正徑　①すずめの涙　②公園の手品師　③冬隣
3. 安次峰　暁　①赤と黒のブルース　②湯の町エレジー　③支那の夜
4. 高橋　哲男　①陽はまた昇る　②喝采　③ブランデーグラス
5. 大矢　真弘　①虹と雪のバラード　②青葉城恋歌　③岬めぐり

6. 渡辺　真司　①暁に祈る　②この世の花　③リンゴ村から
7. 橘　　優治　①新妻に捧げる歌　②二人でお酒を　③津軽恋女
8. 山口　謙二　①たそがれの銀座　②さようならは五つのひらがな　③逢わずに愛して
9. 中村　敏明　①天城越え　②ごめんね　③ブルーシャトーを君だけに
10. 長谷山勝美　①霧笛が俺を呼んでいる　　所用により退席
11. 後藤　秀作　①小樽運河　②古都逍遥　③千年の古都
12. 東海　俊孝　①人生劇場（アカペラ）　②柿の木坂の家　　所用により退席
13. 比護喜一郎　①カスバの女　②流氷　③時の流れに身をまかせ
14. 安藤　信雄　①おらが嫁ご（アカペラ）　②旅姿三人男　③踊子
15. 井坂　　宏　①シクラメンのかほり　②愛燦燦　③百万本のバラ
16. 帆角　信美　①麦と兵隊　②哀愁の街に霧が降る　③石狩挽歌
17. 髙柳　康夫　①奥入瀬　②いとしのエリー　③サライ
全　　員　①Happy Birthday to You ②早稲田の栄光　③早稲田大学校歌

髙柳 康夫 記

未入会の校友のみなさま、部会未参加の会員のみなさまへ！

東久留米稲門会　部会一覧

東久留米稲門会には、下記のような部会・サークルがあります。ご興味のあるものがあれば、とりあえずは「見学」にいらしてください。詳しくご説明いたします。入会手続きが必要で部会員が固定されている会と、イベントごとに参加者を募る会があります。体験入会大歓迎です。お試し体験してみてからの正式参加、正式加入もＯＫです。

部　会　名	活　動　内　容
女性	月に一回の読書会。(ビギナーズクラシックス文庫の中から読む本を決めています)年に二回程度のランチ会や散策など。
ゴルフ	稲門会のコンペ、三田会との合同コンペ共に春秋の開催で年 4 回になります。三田会との合同コンペは 29 回になり団体戦は稲門会の 15 勝 14 敗と拮抗してます。会員数は 20 名で各コンペは 10～12 名の参加です。
囲碁	例会は毎月 1 回第 4 日曜日(成美会館 3F 13 時～16 時半)、春に早大囲碁祭、団体戦、個人戦、秋に稲穂会、11 月合宿、12 月囲碁早慶戦。東久留米はＡクラスの上位キープ、部員は西東京含めて 20 名。
俳句	月 1 回句会第 3 日曜日 13 時～15 時 30 分　年会費 2,000 円　俳句のタネは、あなたの周りに沢山あります。季語と組み合わせて俳句を作ってみませんか。
書道	第二日曜日午後 1 時。書の基本基礎の練磨、座右の銘、自分の好きな言葉など等を各自が書いて持参、互いに批評、添削しながら気軽に皆で書を愉しむ趣味の書道部会。２年に一度の作品展、半年毎のミニ作品展、書き初め展等。部員 13 名。
太極拳	毎月 3 回の土曜日（年初に確定）、午前 10 時から 12 時、成美教育文化会館、会費は参加ごとに 500 円。無理なく体を動かす、強度アップは自由自在。これからの人生の基礎の体を作り上げます。
ウォーキング＆山歩き	従来のｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き：5 回／年程度（月曜日に実施）名所（特に花）や旧跡を訪れ、近郊の軽いハイキングを実施。歩く負荷は軽度。参加者は１5 名前後。 最近の実績：清瀬カタクリと柳瀬川の桜、水元公園の菖蒲、御岳山の蓮華升麻、高麗峠と巾着田の彼岸花、高尾山から小仏峠ハイキング、長瀞宝登山の蝋梅 番外編（甲州街道を歩く）：各月 1 回 実施してきて最終段階にある。

グルメ	年 1 回 20 人ほどの参加で、5000 円程度の昼食会をしています。 お酒もたっぷり飲めます
郷土研究	郷土資料室の学芸員と相談して、勉強会や探訪会を年 1 回程度実施する方針です。
カラオケ	毎年 7 月、12 月に開催します。ただし、臨時に開催することもあります。 直近 3 回の参加者は、それぞれ約 17 名です。大変楽しい会です。
春秋早慶戦観戦	春秋の早慶戦観戦各 1 日。スポーツ観戦は現場が一番。食べ物・飲み物持参で内野の良い席でワイガヤしましょう。
ラクビー観戦	毎年公式戦、および大学選手権を応援・観戦。2019 年は W 杯のため、日程が変更予定。また、第 2 回 World University Rugby Invitation Tournament のホストを今年早稲田が務めるため、世界から 8 大学のラグビー部が集まる予定で、上井草を中心に多くの試合が行われ、早稲田ラグビー大忙しです。
諸芸術鑑賞	練馬稲門会主催新春早稲オケコンサートが中心で、例年約 30 から 40 名の参加。他の企画も検討中。
旅行	一泊バス旅行を 14 回実施して、一泊で行けるところは大体行ってしまったので、バス旅行は一応終了します。新しい企画があれば再開しますので、何か企画を提案してください。
バドミントン.	毎週金曜日、午前 11 時から午後 1 時、東久留米スポーツセンター、参加費は参加ごとに 200 円。全くの素人ばかり、専属コーチあり、100 回目の練習も無事クリアー。みんなうまくなったとコーチの言葉。6 月には強化（？）合宿も予定。
映画鑑賞	諸先輩が設立し、開催 60 回を超える映画鑑賞会を、昨年度から役員が主体となり運営しています。5・9・11・2 月の最終木曜日に開催予定。東久留米市民に愛され、毎回約 300 名の参加者です。会員及び校友の参加をお待ちしております。

部会だより

＜ウォーキング＆山歩き部会＞

ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き（臨時第 3 回）高尾の梅巡り、木下沢（こげさわ）梅林が最終目的地

◎歩く負荷は、比較的に軽く、日頃山歩きなどしない方も大丈夫。

日時：3 月 13 日(水)　8 時 40 分東久留米駅改札口集合

(東久留米 8：52 発に乗車)

＊雨天の場合、対応はご相談する。(順延 or 取り止め)

ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き（第 72 回）桜と菜の花鑑賞：幸手(さって)権現堂桜堤

日時：4 月 1 日(月) 8 時:50 分東久留米駅改札口集合

(東久留米 9:02 発に乗車→幸手着 10:28)

＊雨天の場合、対応はご相談する。(順延 or 取り止め)

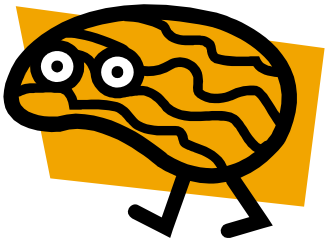
ウォーキング番外篇　甲州街道を歩く第 13 回

【JR 日野春駅→牧原→七賢→上蔦木→JR 信濃境)】

15 ㎞(日野春駅から Taxi 利用の場合)～18 ㎞

日時：3 月 18 日(月)6 時 50 分 東久留米駅改札口集合

*前回と同じ集合時間、同じ電車。



東海 俊孝 記

＜ゴルフ部会＞　「春の稲門会コンペ」　4 月 23 日

恒例の「春の稲門会コンペ」を今年も下記の通り開催いたします。奮ってご参加を。

日　　時：4 月 23 日(火)
場　　所：玉村ゴルフ場
プレイ代：¥6,700（セルフ、昼食代、税込）
参 加 費：¥3,000（賞品、パーティ代）
連 絡 先：ゴルフ部会幹事　金子孝司　携帯：090-2626-3506　e-mail:cgm.knk@gmail.com

※東久留米稲門会会員以外の校友の方、奥様の参加も歓迎です。　　金子 孝司 記

＜映画鑑賞会＞　第 64 回　　5 月 30 日(木)14 時～　　於：成美教育文化会館
「汚れなき悪戯」　　(1955 年　スペイン 91 分)

監督 ラディスラオ・ヴォホダ　出演 パブリート・カルボ
音楽 パブロ・ソロサバル

イエスに対してのマルセリーノ少年の誠実な愛は、それが悪戯に見られようとも責める事はできない、深い感動を呼び起こします。宗教を乗り越えて、見たことのない母親に会いたいとの一心で神のもとに召され悲しみの涙を流すより愛の感動から流れる涙が、この映画には最も相応しい。この作品は宗教を越えて人の心の優しさを示した珠玉の名作である。

1955 年カンヌ国際映画祭特別子役表彰、　ベルリン文芸映画普及協会賞
1957 年キネマ旬報外国映画ベストテン第 8 位　　映画鑑賞会 記

東稲広報室

＜訃報＞

当会会員 榎本隆司様が 2 月 28 日にご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。弔意規定により葬儀に当会より生花一基をお供えいたしました。

＜年会費 3,000 円―手数料不要のお支払い方法＞

ご自身の貯金通帳からＡＴＭで送金すれば月・一回限り手数料が不要。払込取扱票で郵便局窓口支払は 130 円の手数料。郵便局ＡＴＭで払込書挿入の場合は 80 円の手数料がかかります。これをご自身の貯金通帳から、郵貯銀行のＡＴＭを使って、払込取扱票記載の東久留米稲門会・振替口座へ送金されますと手数料はかかりません。

郵貯ＡＴＭの画面操作

①「ご送金」を選択（3 段目）　……※最上段「払込書での送金」は選択しないでください。
②「ゆうちょ口座に送金」を選択(2 段目)　　③『通帳またはカードを入れる』(音声)
④「暗証番号」を入力　　⑤「記号」…００１００　６　を入力 →　　⑥「番号」…１１６０７を入力
⑦「金額」…3,000 円(円も)を入力
⑧「お名前の確認」⇒「はい」　※表示の「通知(郵送)のみ」で完了。「メッセージ(有料)」は押さない。

貴口座から稲門会口座へ直送　　「記号」…１００００ →　「番号」２３２８６８４ →　3,000 円

＜新年会、特別会計収支報告＞

1 月 19 日(土)開催の「新年会」の収支は以下のとおりでしたので報告します。
〔収入〕会費…147,000 円（会員 49 名×会費 3,000 円）
〔支出〕飲食費…130,256 円　会場費(什器・備品含む)…9,200 円　雑費…9,885 円
〔収支〕2,341 円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。　　会計幹事：清水

＜会員リレーエッセイ＞　*～噴水広場～*

東久留米のまちづくり

長田 博之（38 年法研）

松戸から家族 3 人で引っ越して来てから 50 年ちかくになる。その当時は、ひばりが丘の駅前にはまだ杜があり、武蔵野の面影を残していた。現在は、大規模商業施設の開店により周辺は緑も少なくなりつつある。まちが発展するためには、住民が真摯にわがまちのことを考え、愛着を持つことが大切だ。

東久留米市にもまちづくりの基本となる計画がある。計画は「長期総合計画」であり、第 2 次・第 3 次・第 4 次とこれまで 3 回改訂されている。この計画は 10 年間のスパンで改訂されている。第 5 次計画は、2021 年度からスタートする。そのため、計画の検討が行政でぼつぼつ行われても決して遅くはない。第 3 次基本計画策定時に、「明日の東久留米を考える会」が発足した。この会は市民 10 人による公募委員で構成され、その委員の一人として私もまちづくりに参画した。東久留米の将来像をどのように考えるか、多方面から市民の意見を聞いて「東久留米のグランドデザイン」を策定した。

第 5 次長期総合計画もできるだけ多くの市民の意見を反映した計画策定が図られることを期待するものである。それには次のような視点で東久留米のまちづくりを考えてみては如何だろうか。

市民 100 人によるまちづくりの会の発足

市民 100 人がそれぞれの課題に部門別に参画し、まちづくりの計画を策定する。例えば、その課題は緑あふれるまちづくり・コミュニティの形成について・防災に強いまちづくり・少子高齢化社会におけるまちづくり等についてである。もちろん、この計画には財政フレームを策定し、計画が財政で担保されたものであることが必要である。

失われていく緑の保存にどのように取り組んでいくか

東久留米には他市に比べて居住地の近くに生産緑地があり、緑と川など自然環境に恵まれている。少なくはなったが、武蔵野の面影を残す自然はまだまだ残っている。しかし、この失われていく緑の保存と保全に対して何らかの対策はないのだろうか。この機会にみんなで知恵を出して考えてみたいものである。

コミュニティ形成について

都市化していく中で地域コミュニティは失われつつある。一般的に「コミュニティ」と言うと、地域社会や共同体を指す。これは親密な近所づきあいに代表されるような社会をイメージされる。このような古くからの近所づきあいは、だんだん東久留米でも失われつつある。稲門会や三田会が地域で活動していることは、新しいコミュニティの形成に大変役立っていることと思える。特に映画鑑賞会は、地域に溶け込み、東久留米の文化活動にも貢献していると思える。

災害に強いまちづくりについて

東北地方大震災・西日本豪雨を教訓として、市民の目線で災害に強いまちづくりを考える。例えば、地震対策は水対策とも言われている。私たちが生きていくのに水は不可欠である。これらを含めた地震対策等にまち全体でどのように取り組んでいくかを考えることは大切なことだと思う。

市民一人ひとりが主役である

市民一人ひとりがこれからのまちづくりに「私たちは何ができるか」を考え、自らの意思で学び、その成果を地域に活かしていくことが必要である。稲門会は地域コミュニティ形成に大きな役割を担ってきた。稲門会員が地域活性化のため、会員の豊かな経験と知識を活かして、住みやすい活力あるまちづくりに参加することを大いに期待する。また、東久留米が住みやすい、住んでみたい緑あふれる魅力あるまちに発展するために。

＜編集後記＞

あと 3 週間程で新元号発表、5 月からは平成でなくなる。今号は西暦と元号が混在するもご容赦を。平成は、私世代だと仕事と子育てに邁進した人生の盛夏～秋。駆け抜けてきたけどややペースダウンしたところ。日本は平和だけど災害の多い時代だった。新しい元号がどんなものであれ、穏やかで心豊かな時代を望む。東久留米稲門会は平成生まれの 25 歳。平成卒の新会員が増えて来ても良い頃か。(朋)